



もしかして、 その湿疹は

帯状疱疹？

最近、帯状疱疹という言葉を目にする機会が多くなっていませんか？帯状疱疹患者は50歳代から増加し**80歳までに3人に1人が発症**するといわれています。**帯状疱疹は早期対応が肝心**です。帯状疱疹の原因・症状・予防方法を知って、いざという時に備えましょう。

帯状疱疹の症状とは？

からだ・顔に
帯状の発疹や水ぶくれ

ピリピリチクチクした痛みを感じたら**要注意**です。やがて皮膚が赤くなり水ぶくれができて、激しい痛みが出てきます。

帯状疱疹が発症するのは神経の通っている部分で、からだや顔の左右どちらかに帯のように現れます。多い部位は肋間神経のある胸から背中にかけてです。下腹部、腕、足、おしりの下などにも現れます。顔面にある三叉神経に沿って現れることもあり、この場合は眼合併症や顔面神経麻痺につながることもあります。

帯状疱疹が
現れやすい場所



ピリ
ピリ

ズキズキ
チクチク

灼熱感

80歳までに
約**3**人に**1**人が
発症？

原因はなに？

⚠️ 原因はからだに潜む水ぼうそうのウイルス(水痘帯状疱疹ウイルス)

免疫力の低下によってウイルスが再び暴れだす!

加齢

疲労

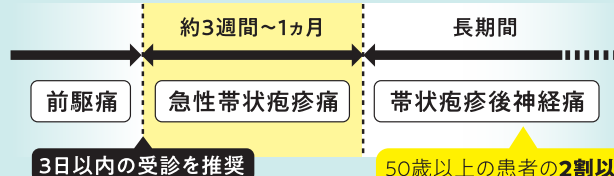
病後

ストレス

子どもの頃にかかった水ぼうそうのウイルスが死なずに、長い間からだの中の神経節等に潜伏。ウイルスはふだんは免疫力的によって活動が抑えられていますが、加齢などによる免疫力の低下から再び活動を始め、帯状疱疹を発症します。

重症化や帯状疱疹後神経痛(PHN)などの合併症を防ぐためにも
早期発見・早期治療が大切です。

帯状疱疹の痛みは水ぶくれや発疹が治るにつれて軽くなりますが、皮膚症状が治った後でも長く続く痛みを帯状疱疹後神経痛(PHN)といいます。PHNはウイルスが神経を傷つけて起こるため、いち早く抗ウイルス剤による治療を始めてウイルスを抑えることが重要です。



50歳以上の患者の**2割以上**が移行すると報告されている



予防接種

ワクチンで帯状疱疹の発症率を低減・重症化を予防できます

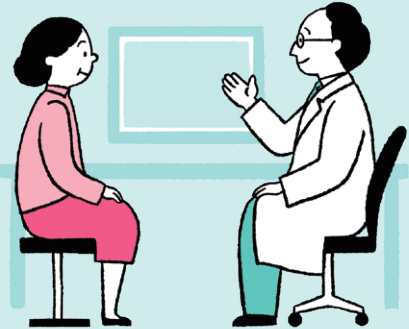
〈帯状疱疹予防接種〉

帯状疱疹の有効な予防法はワクチン接種です。ワクチンには生ワクチンと不活化ワクチンの2種類があり、帯状疱疹の発症や重症化を抑えることができます。水ぼうそうにかかったことがある人もワクチン接種により、免疫力が強化され予防できます。



予防接種費用の助成を受けられる自治体もあります

詳しくはお住まいの市町村窓口にお問合せください。



生ワクチン

乾燥弱毒生水痘ワクチン

細菌やウイルスの病原性を弱めたものから作られるワクチン

接種対象者	50歳以上*1
接種方法	皮下注射
接種回数	1回
接種費用	7,000円~10,000円程度*2

不活化ワクチン

乾燥組換え帯状疱疹ワクチン

感染力をなくした病原体や、病原体を構成する成分の一部から作られるワクチン

接種対象者	50歳以上又は帯状疱疹に罹患するリスクが高いと考えられる18歳以上の方
接種方法	筋肉内注射
接種回数	2回 50歳以上の方:通常2ヵ月の間隔をおく 帯状疱疹に罹患するリスクが高いと考えられる18歳以上の方:通常1~2ヵ月の間隔をおく
接種費用	40,000円~60,000円程度(2回接種の合計)*2

*1:免疫不全・免疫抑制状態の方や妊娠中の方などは生ワクチンの接種を受けられません。詳しくは医師にご相談ください。

*2:47都道府県の行政公式HPのうち、接種費用を公開している8都県のHP情報より、最小~最大の費用を算出(2023年8月時点)。医療機関により接種費用は異なります。

参考:帯状疱疹.jp <https://taijohoushin.jp/vaccines/>

帯状疱疹は免疫力低下で発症!

免疫低下しないように しっかり健康管理が大切

食事

睡眠

運動

休息



誰もがかかる可能性を持っています!

日本人成人の
9割以上が
ウイルスを保持



参考:国立感染症研究所感染症疫学センター, IASR.2018;39(8):129-130.

わたしが
お答えします!



おしえて! 帯状疱疹

Q.

帯状疱疹はうつりますか?

A.

水ぼうそうになったことがない人に水ぼうそうとしてうつる可能性があります。

水ぼうそうに感染したことがない乳幼児や予防接種をしていない子どもに接触するのは避けたほうがよいかもありません。詳しくは医師にご相談ください。

Q.

帯状疱疹に2回なる(再発すること)はありますか?

A.

数%は再発するとされています。

帯状疱疹になると、水痘帯状疱疹ウイルスに対する強い免疫がつきます。しかし、かかった人のうち数%は再発するといわれています*1。

*1参考:国立感染症研究所, 帯状疱疹ワクチンファクトシート, 平成29(2017)年2月10日

Q.

帯状疱疹になった場合、どのような治療を行うのでしょうか?

A.

帯状疱疹の治療には、抗ウイルス剤や痛みを抑える消炎鎮痛剤などが使われることが一般的です。

帯状疱疹が疑われる場合はできるだけ早く医師に相談し、治療を開始しましょう。